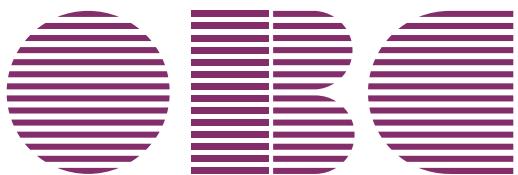


証券コード：4733

株式会社 オービックビジネスコンサルタント



奉行通信

第39期 第2四半期ご報告

平成29年4月1日～平成29年9月30日



奉行流

働き方改革

—BUGYO Work Style Innovation—

業務から変える、企業の未来。



ひと目でわかる! OBC

OBCは、テレビCMでおなじみの「勘定奉行」をはじめ、
企業に必要な基幹業務システム「奉行シリーズ」の
開発、販売および保守・導入指導等を行っているソフトウェアメーカーです。

OBCのコアコンピタンス

- 1 企業業務(会計・人事・給与等)の業務サービスにフォーカスする
- 2 中堅および中規模・小規模企業にフォーカスする
- 3 マイクロソフトのテクノロジーにフォーカスする
- 4 パートナー戦略にフォーカスする
- 5 ブランド戦略にフォーカスする

OBCの製品ラインアップ

企業業務レベルに合わせた
最適なクラウド対応ソリューションを提供

■ 基幹業務システム 奉行シリーズ



企業業務の成長に合わせてアップグレード可能

小規模企業 中規模・小規模企業 中堅企業

■ 企業の業務を効率化する 業務クラウドサービス



安心と実績の製品・サービス、信頼できる確かな技術で
お客様のニーズにお応えしてまいります。

導入シェアNo.1の奉行シリーズ

導入実績 **56万社** 突破
※平成29年3月現在

顧客満足度調査 2017-2018
日経コンピュータ 2017年9月14日号
顧客満足度調査 2017-2018 ERPパッケージ部門 1位
4年連続 第1位 (2014~2017)

株主の皆様へ

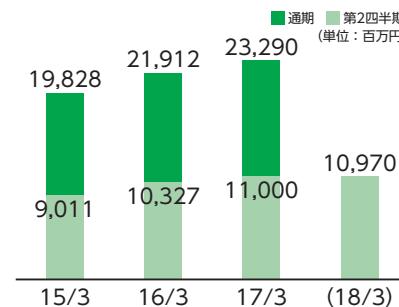


代表取締役社長 和田 成史

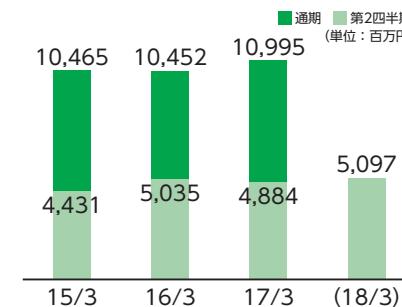
株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。
当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績は回復傾向にあるものの、個人消費の回復や物価上昇にはつながらず、先行きは不透明な状況となっております。また、企業の経営課題としては長時間労働の是正を含む「働き方改革」への取り組みが注目されており、対応が急がれています。
このような経済環境のもと、当社は、当期の大きなテーマとして「奉行流 働き方改革」を掲げ、企業活動の様々な場面においてシステム化で解決できる可能性を追求し、生産性の向上や人手不足の緩和につながる取り組みを推進してまいりました。
これからも、「顧客第一主義」を念頭に置き、企業の業務とユーザーの「使いやすさ」にフォーカスし、ニーズの変化に柔軟に対応した製品・サービスの開発およびサポート体制の構築に注力してまいります。
株主の皆様には、今後とも変わらぬご厚情ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

当第2四半期の業績

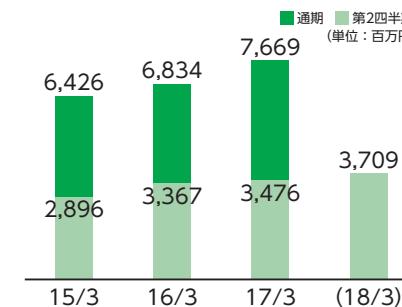
売上高 **109億70百万円**
(前年同期比 \downarrow 0.3%減)



経常利益 **50億97百万円**
(前年同期比 \uparrow 4.4%増)



四半期純利益 **37億9百万円**
(前年同期比 \uparrow 6.7%増)



◇ 当第2四半期のポイント

- ◎売上高は、ソリューションテクノロジー等のプロダクト売上高が減少しましたが、サービス売上において保守サービス等の売上が安定的に寄与し、前第2四半期とほぼ横這いになりました。
- ◎全国主要都市で「OBCパートナーカンファレンス2017」を開催。市場の動向や当社のサービス展開をパートナー様と共有することで、ユーザー様のニーズをより的確に捉えた製品・サービスの提供と営業活動に努めてまいりました。
- ◎サービス売上原価の増加および研究開発費など販売費及び一般管理費が増加したことで、営業利益は減益となりました。

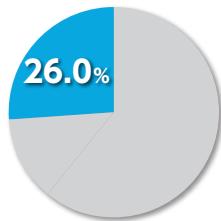
事業別の状況

ソリューションテクノロジー



◆当第2四半期の状況

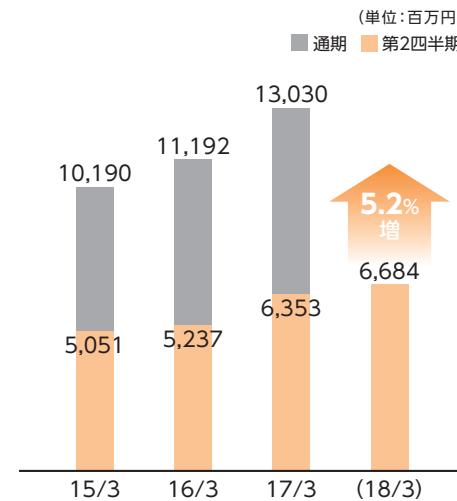
ソリューションテクノロジー部門の売上高は、28億55百万円(前年同期比11.2%減)となりました。Windows XP対応の奉行シリーズのバージョンアップ需要が前事業年度で一巡したことに伴いプロダクト売上が減少したことが主な要因です。



❖事業内容

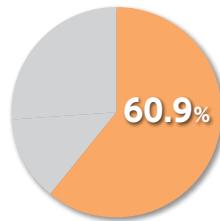
中堅および中規模・小規模企業を中心に、ITを活用したソリューションとして、「奉行シリーズ」をはじめとするソフトウェアを提供。企業規模やニーズに合わせて豊富なラインアップを用意しております。また、上位製品へのバージョンアップも当部門の売上高に含まれます。当社のソフトウェアは、販売・パートナーとの強固な連携による供給体制が確立されており、それらが強い競争力と安定成長力の基盤となっています。

サービス



◆当第2四半期の状況

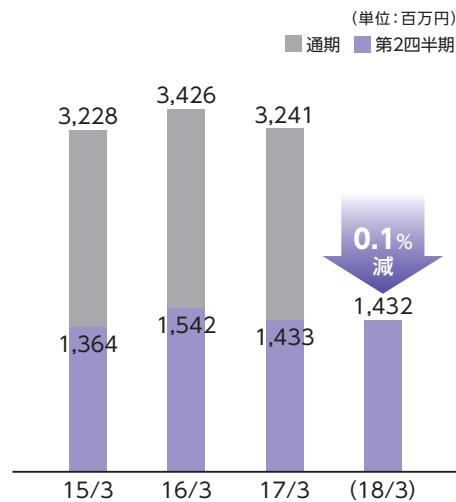
サービス部門の売上高は、66億84百万円(前年同期比5.2%増)となりました。保守サービスの契約料などの売上が安定的に増加したことが主な要因です。



❖事業内容

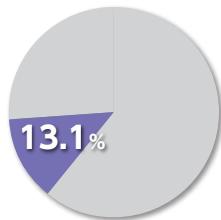
システム導入後のユーザーサポートを目的とした「年間保守契約」や「オンライン・電話回線等サポートサービス」を提供。また、基幹システムの範囲を超える業務を補う「OMSS+業務サービス」を多種展開。お客様目線に立ったきめ細かなサポート体制を確立しています。こうしたサービスは、当社製品の市場における評価・優位性につながるだけでなく、売上にも大きく寄与しています。

関連製品



◆当第2四半期の状況

関連製品部門の売上高は、14億32百万円(前年同期比0.1%減)となりました。奉行サプライの減少を奉行連動ソリューションの売上がカバーし、結果として前年同期とほぼ横這いになりました。



❖事業内容

「奉行シリーズ」専用の仕様となっている伝票・帳票などの「奉行サプライ」を提供。このサプライ製品は、奉行シリーズをご購入いただいたお客様との継続的な取引につながる安定した収益源です。また奉行シリーズと連動して使用される他社開発のハードウェア、ソフトウェアの供給に伴う売上や、EB関連製品などの売上も、当部門の売上高に含まれています。

通期の見通し

各企業では今後も生産性の向上や人手不足の緩和につながる動きがますます加速し、こうした課題を解決するためのシステム需要が高まるものと予想されます。

当社では、このような需要にお応えするために、各企業の経営課題をシステム化で解決できる可能性を追求し、企業業務の生産性アップを実現するサービスを充実させてまいります。

これからも、変わりゆく経済環境と進化するテクノロジーの双方をしっかりと見据え、「顧客第一主義」の理念のもと、信頼性・拡張性・柔軟性を兼ね備えた製品開発・保守サービスを提供してまいります。

◆2018年3月期業績予想

	金額	前期比
売上高	24,000	3.0%増
営業利益	10,080	1.3%増
経常利益	11,080	0.8%増
当期純利益	7,656	0.2%減

TOPICS ①

「働き方改革」を「体感」する

「奉行フォーラム 2017」

体感

奉行フォーラム
2017

今回のテーマは「体感」



OBCは全国13会場で『奉行フォーラム 2017』（期間：10月3日～11月21日）を開催し、たいへん多くのお客様にご来場いただきました。

今回は企業の「働き方改革」を成功に導くための、具体的な取り組み手法としてOBCが提案する「奉行流 働き方改革」を「体感」していただくことをテーマといたしました。

「触ってわかる！」「数字でわかる！」をキーワードに、お客様に合った取り組み手法をご紹介し、実際に製品を触りながら、業務の時間削減効果を数字で見ること、「自社でもできる！働き方改革」を体感していただきました。

新サービスも続々登場！ 「見て」「触って」「聞いて」体感！

「奉行フォーラム2017」では、従業員と管理部門のスピーディな連携で業務生産性の向上を実現する、スマートフォンに対応した新しいクラウドサービスをご紹介いたしました。実際にスマートフォンを使い、より早く、より確実に、より安全に、より簡単に、リアルタイムな情報のやりとりによって生産性の向上につながる新サービスを体感していただきました。



今回登場した
主な新サービス

経理

支払精算サービス

2018年
1月
リリース

交通費や交際費などの精算から仕入取引の支払管理まで徹底的に効率化！

総務

労務管理サービス

2017年
10月26日
リリース

社会保険・労働保険の手続き業務にかかる時間を劇的に削減！

販売

Workbase

2018年
1月
リリース

企業のあらゆる業務を自由に組み立て、従業員の業務をスマートに！

総務

BCP対策サービス

2018年
1月
リリース

ノウハウがなくても大丈夫！必要・最適なBCP対策が無理なくできる！

TOPICS ②

「日経コンピュータ顧客満足度調査」の「ERPパッケージ部門」で、 OBCのERP製品が 4年連続第1位を獲得！

会計・人事労務・販売管理などの基幹業務だけでなく、従業員の利便性を上げるクラウドサービスも加えた、企業業務全体を支える業務ERPパッケージシステムとして、導入・運用管理のしやすさや、システム構築の容易さなどを高く評価いただきました。

今後も企業全体のあらゆる業務のパフォーマンスを包括的に支援し、製品開発やサポート体制の充実など、お客様の満足度向上のために日々の地道な取り組みを怠りなく実践してまいります。



働き方改革CM放映中！



「奉行流 働き方改革」をPRする新CMを制作いたしました。若手社員が上司に提案するスタイルで、「固定業務時間の大幅削減で、働き方改革を実現できる！」というメッセージを強く押し出したシーンが特徴的な、これまでとは少し違ったイメージのCMに仕上がっています。ぜひご覧ください。

財務諸表

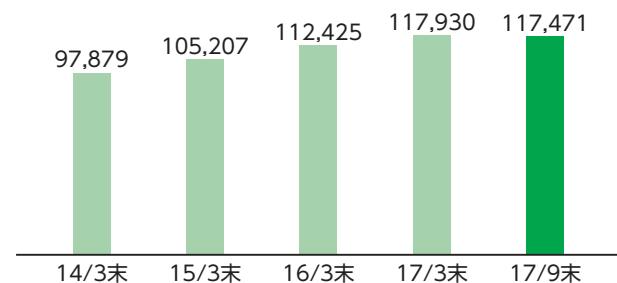
第2四半期貸借対照表 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	第38期末 平成29年3月31日現在	第39期 第2四半期末 平成29年9月30日現在
資 産 の 部		
流動資産	89,560,226	89,990,769
固定資産	28,370,388	27,480,657
有形固定資産	477,488	507,586
無形固定資産	418,059	416,752
投資その他の資産	27,474,840	26,556,318
資産合計	117,930,615	117,471,426
負 債 の 部		
流動負債	13,835,996	11,508,738
固定負債	4,052,473	4,002,118
負債合計	17,888,470	15,510,856
純 資 産 の 部		
株主資本	90,323,562	92,717,466
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,949,268	18,949,268
利益剰余金	66,204,172	68,598,342
自己株式	△5,348,878	△5,349,143
評価・換算差額等	9,718,582	9,243,102
その他有価証券評価差額金	9,718,582	9,243,102
1 純資産合計	100,042,145	101,960,569
負債純資産合計	117,930,615	117,471,426

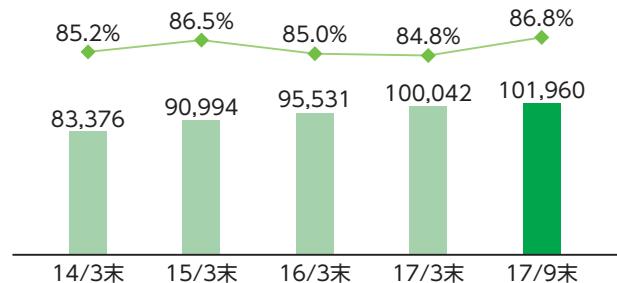
◆総資産額

(単位:百万円)



◆純資産額/自己資本比率

(単位:百万円)



CHECK POINT

1 純資産

純資産合計は1,019億60百万円となり、前事業年度末に比べ19億18百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は86.8%となりました。

第2四半期損益計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	前第2四半期 累計期間 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	当第2四半期 累計期間 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日
2 売上高	11,000,035	10,970,524
売上原価	1,636,734	1,736,866
売上総利益	9,363,301	9,233,657
販売費及び一般管理費	4,843,535	5,239,026
2 営業利益	4,519,765	3,994,631
営業外収益	559,209	1,103,164
営業外費用	194,496	386
3 経常利益	4,884,478	5,097,409
特別利益	5,038	-
特別損失	667	-
税引前四半期純利益	4,888,849	5,097,409
法人税等	1,412,524	1,387,866
法人税、住民税及び事業税	1,312,177	1,298,838
法人税等調整額	100,346	89,027
四半期純利益	3,476,325	3,709,543

第2四半期キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	前第2四半期 累計期間 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	当第2四半期 累計期間 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,212,527	4,111,364
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	3,389,304	581,827
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,315,839	△1,315,541
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,285,992	3,377,650
現金及び現金同等物の期首残高	69,689,288	81,300,586
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,975,280	84,678,236

CHECK POINT

2 売上高・営業利益

奉行保守契約や業務サービス等のサービス売上は増加しましたが、Windows XP対応の奉行シリーズのバージョンアップ需要が前事業年度で一巡し、プロダクト売上が減少したことから、売上高は前年同期とほぼ同額となりました。販管人件費、研究開発人件費が増加したため、営業利益は前年同期比(以下同)11.6%の減益となりました。

3 経常利益

経常利益が同4.4%増加した主な要因は、投資事業組合運用益を営業外収益に計上したことによるものです。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

主なプラス要因は、税引前四半期純利益の計上、売上債権の減少額等であり、主なマイナス要因は、前受収益の減少額、法人税等の支払額等によるものです。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

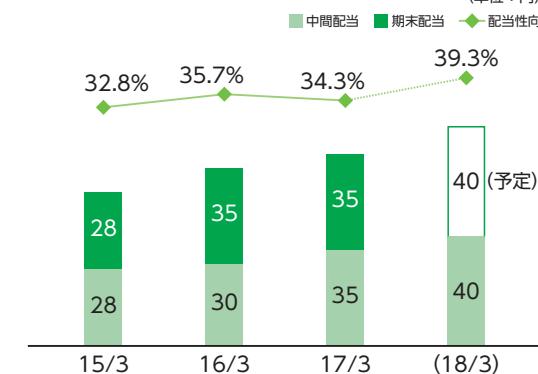
主な要因は、投資有価証券の売却等によるものです。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

主な要因は、配当金の支払額等によるものです。

◆中間配当/期末配当/配当性向

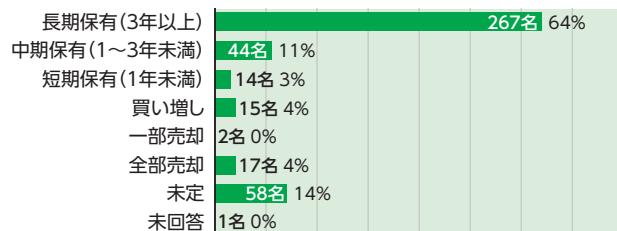
(単位:円)



アンケート結果報告

「第38期奉行通信」で株主様へアンケートを実施させていただきました。株主数3,871名のうち418名よりご回答を頂戴しました。株主様へ御礼を申し上げますとともに、その集計結果のご報告をさせていただきます。

Q 今後の当社株式の保有方針についてお聞かせください。



半数以上の株主様から、長期（3年以上）の保有方針とご回答をいただきました。

今後も安定的な利益還元を実現し、長期保有にメリットを感じていただけるよう、営業活動に努めてまいります。

● 奉行通信の感想より

- スマホからe-bookでみる奉行通信もカラーでみやすくわかりやすいです。
- 業績が順調に伸びているのを確認できてよかったです。
- 中長期事業計画について具体的に記載していただけるとなお良かったです。

Q 当社のIR活動について特に充実を希望することは何ですか。



多くの株主様から「HPでの情報提供」「株主向け情報誌」の充実を希望されるとのご意見をいただきました。

HPのIRサイトや「奉行通信」のさらなる充実を図り、株主様の役に立つ情報開示に努めてまいります。

● その他ご意見のご紹介

- 今後のクラウドファースト戦略に期待します。
- 株主優待に魅力を感じています。さらなる内容充実を希望します。
- 今後も親しみやすいIRを期待しています。

企業情報

平成29年9月30日現在

株式の状況

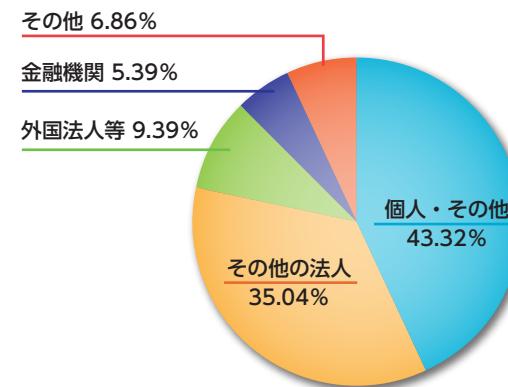
発行可能株式総数	161,408,000株
発行済株式の総数	40,352,000株
株主数	2,521名

大株主 (上位5名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社オービック	13,589	36.16
和田成史	11,556	30.75
和田弘子	2,616	6.96
JPMC OPPENHEIMER JASDEC LENDING ACCOUNT	1,081	2.87
澤田和久	464	1.23

※持株比率は自己株式(2,769千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



企業プロフィール

会社概況

商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月12日
資本金	10,519,000千円
従業員数	750名

役員

取締役会長	野田順弘
代表取締役社長	和田成史
専務取締役	和田弘子
常務取締役	中山茂
取締役	唐鎌勝彦
取締役	荻野俊夫
取締役	木村博
取締役	橘昇一
取締役	伊東千秋
取締役	沖原隆宗
常勤監査役	黒岡成一
監査役	高橋郁雄
監査役	加納博史

主要事業拠点

本社/東京支店	〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー32F
大阪支店	〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F
名古屋支店	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-16-7 NORE伏見ビル7F

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページ)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
一単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

■ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

株主様の口座がある証券会社等へお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、上記の電話照会先をお願いいたします。

■ 「配当金計算書」について

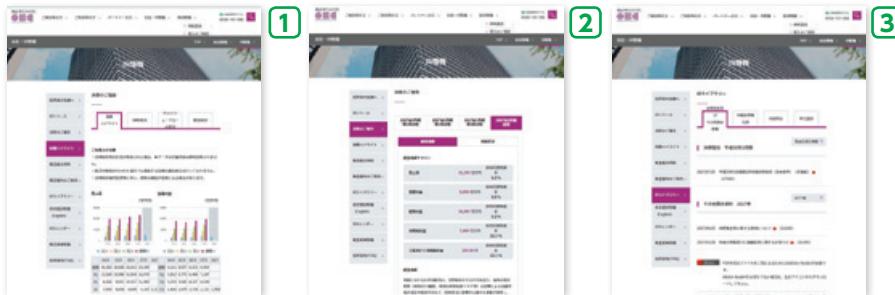
配当金のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

当社IRサイトのご案内

■ HPリニューアル

財務ハイライトや決算のご報告、奉行通信などが、いつでもどこでも、スマートフォンからみることができるよう。みやすい、使いやすいIRサイトにリニューアルいたしました。



① **財務ハイライト** <http://www.obc.co.jp/corporate/ir/highlight/>
四半期ごとの決算情報をもとに、見やすさを工夫。タイムリーにご覧いただけます。

② **決算のご報告** <http://www.obc.co.jp/corporate/ir/release/report.html>
有価証券報告書・四半期報告書に掲載された内容をもとに、より充実した情報量・体裁となりました。

③ **IRライブラリー** <http://www.obc.co.jp/corporate/ir/library/>
有価証券報告書、決算短信等、過去の開示書類をご覧いただけます。また、奉行通信やアナリスト向け説明会の内容も、このページから閲覧可能です。

※実際にスマホで見た際の財務ハイライト画面イメージ。



株式会社

オービックビジネスコンサルタント

<http://www.obc.co.jp/>